



## 瀬戸内三橋時代がはじまった！

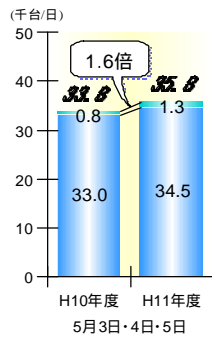
広島県尾道市と愛媛県今治市を結ぶ本四連絡橋（瀬戸内しまなみ海道）が平成11年5月1日、全線開通しました。昭和63年開通の瀬戸大橋、平成10年開通の明石海峡大橋と併せ、本四3ルートの開通前後の交通量を各ルート付近で常時、交通量を観測している「交通量常時観測調査」結果より、変化を検証してみました。

### 本四連絡道路近傍における開通前後の交通量変化

本四連絡道路  
尾道 - 今治ルート



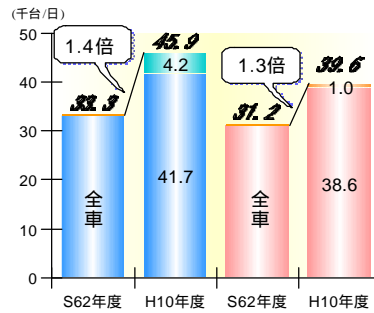
平成11年5月1日開通  
一般国道196号 平田



本四連絡道路  
児島 - 坂出ルート



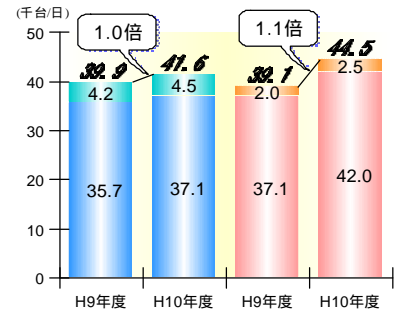
昭和63年4月10日開通  
一般国道11号 国分寺



本四連絡道路  
神戸 - 鳴門ルート



平成10年4月5日開通  
一般国道11号 中喜来



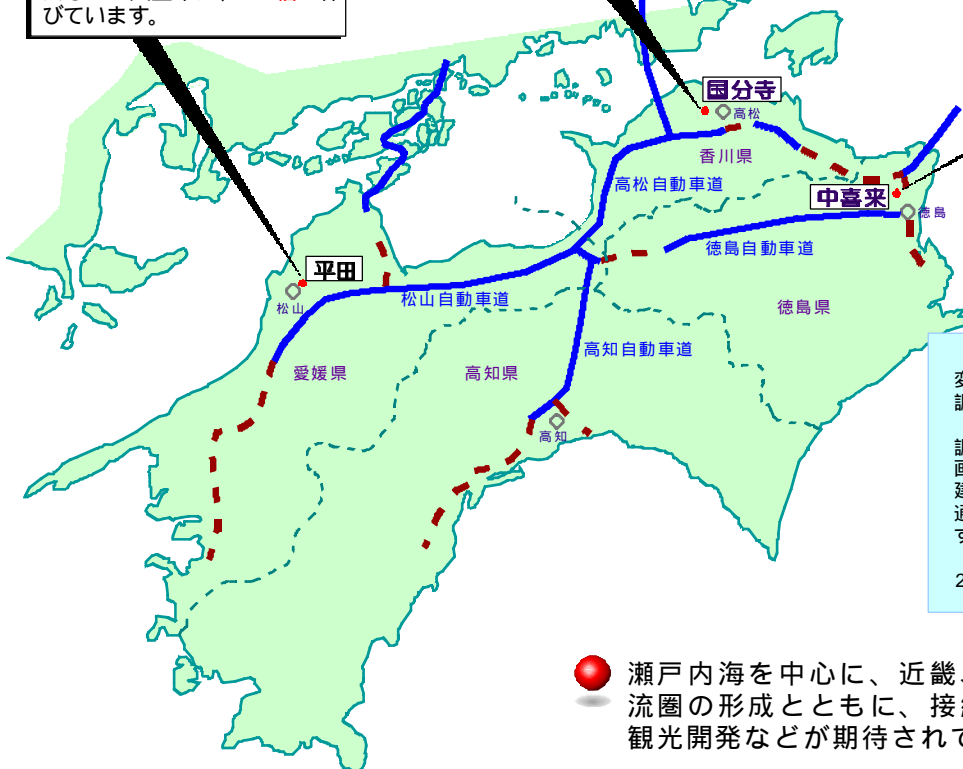
平日 小型車 大型車 休日 小型車 大型車

大型車：大型貨物・バス  
小型車：小型貨物・乗用車

5月3日～5日の平均交通量を開通前と比較すると、全体では、**1.1倍**の伸びであるが、バスなどの大型車は、**1.6倍**と伸びています。

開通後10年以上を経て、平日で約**1.4倍**、休日で約**1.3倍**に増加しています。

開通前後を平日、休日別に比較すると平日は**1.0倍**、休日は**1.1倍**となっており、休日が伸びています。



交通量常時観測調査は、交通量の経年変化・車種構成等を把握するために観測調査するものです。これらの調査結果は幹線道路整備計画調査における交通計画、道路網の将来計画等の基礎資料とともに、道路の建設と維持管理のための資料あるいは交通管理・交通情報等の資料とするものです。四国では基本観測地点が一般国道に25カ所あります。

● 瀬戸内海を中心に、近畿、中四国を結びつける広域交通圏の形成とともに、接続する高速交通網の整備や、観光開発などが期待されています。